

アウトレットボックスへの施工

(金属管・ネジなしコネクタ・ブッシング・ボンド線の取り付け)

使用する工具は「ウォーターポンププライヤー」「プラスドライバー」「ペンチ」になります。



ウォーターポンププライヤー プラスドライバー

ペンチ もしくはニッパー

作業手順

まず、「ネジなしコネクタ」に付いている「止めネジ」をプラスドライバーで少し緩めて、



「金属管」が「ネジなしコネクタ」にすっぽり入るようにします。



次に「止めネジ」をウォーターポンププライヤーを使ってしっかり閉めて、



さらに閉めていくと「止めネジ」の頭部が果て、ポロリと取れます。この状態になるまでしっかり「止めネジ」を締め上げます。ここまでの作業を管の両側共施工する



次にアウトレットボックスに固定する側の「ネジなしコネクタ」からロックナットをはずします。



アウトレットボックスの通し穴に、ロックナットがはずされた「ネジなしコネクタ」を差し込みます。



差し込みましたら、はずしたロックナットで締めていきます。



さらにウォーターポンププライヤーでしっかり固定します。



次にロックナットの上に「ブッシング」を閉めていきます。



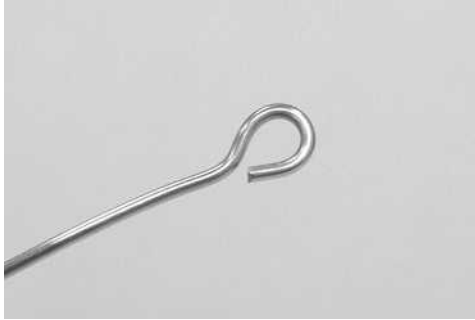
最後にウォーターポンププライヤーでしっかり固定して終了です。



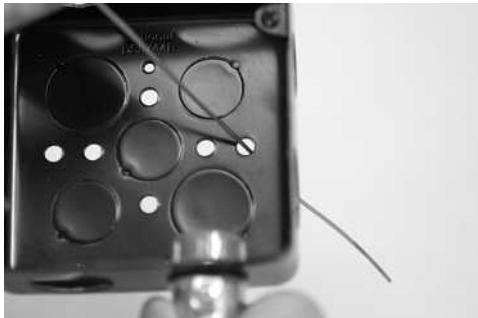
もう一方側の「ネジなしコネクタ」には「ブッシング」を手でしっかり閉めてもらえば結構です。



次にボンド線を施工していきます。まずはボンド線の片方を「輪作り」します。



ボンド線の「輪作り」していない側をアウトレットボックスの底部分にある穴(写真と同じ位の位置)へ差し込んで通します。



通したらそのまま「輪作り」側を「ボンド線留めネジ」を使って、アウトレットボックスの底部分にある少し小さなネジ穴(写真で位置を確認)へ「輪作り」結線します。



次にボンド線の「輪作り」していない側を写真を参考に「ネジなしコネクタ」に付いている「ボンド線挟みネジ」へ誘導して、



ボンド線が「ボンド線挟みネジ」を通過して、少し、はみ出る位のところで切断してネジ締めしてください。



完成です。



表側



裏側

確認と徹底

「止めネジ」の頭部が果てるまで締上げること。

「ロックナット」は少し膨らんでいる側をアウトレットボックス中央側に向けて締めること。



ボンド線は「ボンド線挟みネジ」で最後締めて、余ったボンド線は「ボンド線挟みネジ」の幅より少し、はみ出している状態(2 ~ 3 mm)で切断すること。

